

2007年度の歩みと次年度に向けて

阪 田 蓉 子

新任の教員を迎えて

2006年度から準備を進めていた司書・司書教諭課程のe-ラーニング実施のために、増員が認められ、年度途中からではありますが、新任の専任講師（三浦太郎氏）を迎えることができました。三人体制になったことは、課程が今後の教育・研究を推進していくにあたり大きな力となり心強い限りです。

兼任講師の交代など

課程開設当初から「図書館経営論」をご担当いただいていた小川俊彦先生が2006年度末で、ご退任になり、新しく齊藤誠一先生（千葉経済大学短期大学部）をお迎えしました。また、「レファレンス・サービス演習」には、栗原智久先生（江戸東京博物館図書館司書）が加わり、専門図書館司書としての知識と技量を存分に発揮していただいています。

2007年度末には、課程開設当初から「資料組織論」演習においてご指導をいただいていた渡部満彦先生がご退任になります。

2000年度開設の課程も8年が過ぎ、開設の頃からの兼任講師の顔ぶれも少しく変わりましたが、新しい歩みが始まりつつあります。

なお、課程室の嘱託職員である佐藤繭子さんも2008年3月末でご退任です。課程室の活動の礎を固め、活動の枠を広げていただきました。感謝とともに新たな場でのさらなるご活躍をお祈りいたします。

教職GP

昨年度に引き続き教職GP「授業デザイン力

形成支援プロジェクト」において、セミナーの分科会を企画し、積極的に役割の一部を担いました。分科会には、現職の司書教諭、学校司書をはじめとして、教職志望の大学院生や学部学生の参加を得て、好評の裡に、所期の目的を果たすことができました。

授業を支える力量形成セミナー

第2回 2007年7月29日（日） 分科会
「総合的な学習の時間における学校図書館の活用」紺野順子氏（実践女子大学非常勤講師）
第3回 2007年12月16日（日） 分科会Ⅰ
授業デザイン力形成支援プロジェクトからの発信 図書館利用学習の事例とその分析「自ら考える力」を養う教育に向けて、をテーマに、白山市立小・中学校図書館および市川市第五中学校および市川市教育センターへの見学・訪問の報告と考察を、TAの太田真我君、柴田伊都子さんおよび江竜珠緒さん（明治大学付属明治高等学校・中学校司書教諭、本学卒業生）が担当、また齋藤泰則准教授が「図書館利用を核とした探求学習指導モデル」と題して講演をされました。午後の分科会Ⅱは、教材開発ワークショップを共通テーマに、「読書指導から読書学習へ」と題した講演を、本学卒業生でもある米谷茂則兼任講師が担当されました。

e-ラーニング試行とコンテンツ作成

受講生は、生田の学生を含め、少数ではありましたが、所期の目的を達成することができました。試行を通じて、e-ラーニングの長所と短所も分かり、コンテンツ作成にあたっ

への更なる改善点も明らかになりました。

来年度の本格的な展開に向けて、コンテンツ作成も継続して行っています。

同時に図書館サービスの現状を教材とするため、下記の図書館を撮影させていただきました。なお、取材に際して日本図書館協会の常世田良氏、病院図書館協会の菊池佑氏など多くの方々の助言を得ることもできました。

図書館をはじめ関連機関そして担当してくださった皆様方に厚くお礼を申し上げます。

取材先は、東京都立中央、鳥取、沖縄の各県立、名護、大阪、枚方の各市立中央、伊万里市民、大阪市立生野、墨田区あずま、群馬県大泉町、静岡市立御幸町、愛荘町立愛知川並びに横浜市立盲特別支援学校そして静岡県立静岡がんセンターあすなろ等の図書館です。

教材撮影は、さらに場を広げ、専門図書館に焦点をあてたもの、図書館の施設と建築をテーマに掲げたものそして障害者サービスを扱ったものなどを続行中です。また、児童サービスの実技編の撮影も進めています。

TAの活躍

司書・司書教諭課程でのTA採用も2年目となり、本年度は授業の教材作成等仕事の間も広がり、授業支援のための力を大いに発揮してくれました。課程室の懸案であった資料の組織化も進めることができたのも彼ら4人の働きのおかげです。修士課程を修了した楠田真君、柴田さん、太田君の3名は、東京都の教員試験や地方公務員試験に合格し、教師として、公務員として新しい道を歩みます。

太田君は修士論文のテーマに「司書教諭と生徒の視点からみた学校図書館—その在り方と課題—」を選び、利用者である生徒へのアンケートを実施しました。その成果の一部を研究ノートとして、本誌に掲載しています。

特別講義

今年度の特別講義は、学校図書館に力点を置き、司書教諭の役割についておよび障害児

への支援について考える機会となりました。教職志望の学生には大いに刺激となりました。

図書館実習

今年度は、葛飾区立、川越市立、台東区立、厚木市立図書館にお世話になりました。実習館およびご指導をいただいた司書の方々に深く感謝いたします。

神田一ツ橋中学校図書室ボランティア

継続実施中です。学校図書館現場での実習体験をすることができ、学校司書および司書教諭の役割を知る貴重な機会となっています。

勉強会

小人数ですが、着実に就職に向けての学習を続けています。無事、公務員試験に合格し、4月から地方公務員として勤める参加者も数名育ちました。卒業生および同志のボランティアとしてのお二人の熱心なご指導にはお礼の言葉ありません。

図書館情報学教育に関する共同研究（略称LIPER）

検定試験実施のための予備試験に参加し、日ごろ蓄えた力を試すよい機会となったようです。本来3年あるいは4年が対象ですが、明治大学では、1年次から司書課程受講を開始しているという事情もあり、和泉キャンパスの受講生である1-2年も協力しましたが、彼らにとってもよい刺激となりました。

新体制

後期からの増員は当課程に対する大学の期待も大であると真摯に受け止めております。図書館情報学における研究の伸展と専門職養成に向けて、我々の任務と役割の重さと責任を深く感じます。学内外の先生方のご支援を得て、e-ラーニングの推進等、明治大学の教育の充実に、微力ながら更なる努力を進めていこうと新たな決意を固めている次第です。